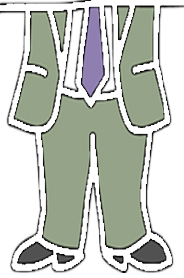


# 吉田喜一 教授の ものづくり 工学便り



溶接実習の感想を読んだ親の感想

都立産業技術高専名誉教授 吉田喜一

この東京新聞ミニコミの五月二十三日号で、高専一年生の初めての溶接実習の授業の感想を載せました。それらを読んだ母親の感想を紹介いたします。子どもたちの成長を暖かく見守っていることがよく分かります。

●楽しいと思えた体験は今後も身につきやすいものです。これからは安全に丁寧な作業が行えるよう、先生のアドバイスをしっかり聞いて実践してください。

●多少の驚きや怖さもあるようですが、最終的には「楽しかった」という声が多く、ものづくりに対してどんどん意欲が生まれていくんだな・・・と感じました。初めての体験ばかりかと思いますが、これからも自ら進んで参加し吸収していったほしいと思います。

●みんながよい体験ができて良かった

と思います。

●子どもたちがアーク溶接実習に悪戦苦闘している姿を感じることができました。

●実習の何日も前から溶接を学校で行うと、家で好奇心一杯に話をしています。溶接や切断のような普段では行わない火力の使い方は、恐怖心が先立ちそれを克服しないと上手くできませんいし、怪我をするものになります。物事は怖がってばかりでは何も進まないと言ったことを今回の授業で少しは学んでくれたのかなと思いました。

●私の父の仕事が造船所で、ガス、電気溶接をやっていたこともあり、息子から溶接の話聞いた時にはとても感慨深いものがありました。入学してまだ間もない時期にこれほどのことを経験できる子どもたちはとても恵まれてるように思います。これからは基本をしっかり身につけてくれることを期待しています。

●普通の高校では体験できないことができて、しかも楽しそうで良かったです。今後は楽しいだけでなく、美しく、上手にこだわりを持って仕上げられるようになると良いですね。



消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎

## 「新幹線50年の技術史」を 読んでみました

こんにちは。メガネのサトウ4代目です。今回のお話は、「新幹線50年の技術史(曾根 悟 著・講談社ブルーバックス 2014年4月)」という本のご紹介と、読後の感想についてです。

お子さまの夏休みも始まり、旅行や帰省などで新幹線の利用を考えている方もいらっしゃるでしょう。本書は、世界の高速鉄道の元祖ともいえる「東海道新幹線」の開業から50年の節目である今年、鉄道技術者である著者が、自身の新幹線に関するこれまでの考察を、読みやすくまとめたものです。



内容は、新幹線誕生の経緯から始まり、開業後の様々な試行錯誤、旧国鉄時代の技術の停滞と「発足以降の新たな挑戦、諸外国の高速鉄道との比較などについて述べ、国内の新幹線の変遷から将来のリニア中央新幹線の展望までを含んだ、高速鉄道の歩みを概説した

ものになっています。この本が面白いのは、単に新幹線の歴史を紐解くだけにとどまらず、著者があとがきで「本書の内容には、普通に考えられている常識と違う点が多いはずである。世界に冠たるはずの新幹線がガラパゴス化していたり、…(中略)。また、一般には知られていないことも書かれている。」と記

したように、技術者ならではの視点で新幹線を捉え、問題点に対する苦言や提言が織り込まれているところにあります。

私は、東海道新幹線の「安全・高速・正確・高頻度」な点については素晴らしいと思う反面、積極的に「乗ってみたい！」という希望(のぞみ)が持てません。それは、ビジネスで利用することが皆無であることにもよるのでしょうが、新幹線は「高いし、ゆとりもないし、通勤電車のようにつまらない」乗り物という印象だからです。かつて存在した2階建ての「ひかり号」には、横長の大きな窓から富士山の景色を眺めたり、食堂車や個室席があつたりして、乗る楽しみがありました。旅好きな私は、移動手段にも「車窓」や「グルメ」、あるいは「安さ」など、プラスαのお楽しみを求めてしまいます。読んだ後に、これからもLCC(格安航空会社)は利用しても、リニア新幹線は多分、乗らないだろうな、などと考えてしまいました。



### ■メガネのサトウ■

南千住5丁目43の13【ユツ通り】  
TEL 03 (3806) 4930

★休業日のご案内★  
7月:29(火)

8月:毎週火曜日と、17(日)、18(月)

※17(日)〜19(火)は、夏季連休とさせていただきます。どうぞ、お早めにご用命下さいませ。

★営業時間のご案内★

平日(月〜金) ……AM 9時〜PM 6時30分

※8月13(水)〜15(金)は、PM 5時までの営業とさせていただきます(≡終業時刻のみ変更)。

土・日・祝 ……AM 10時〜PM 5時